

地域と共に支える 高齢者のまちづくりをめざして

●問合せ先 小郡市地域包括支援センター ☎72-7551 ファクス72-7561

～高齢者とともに歩めるまちを～

「いつまでも自分らしく住み慣れた地域で暮らしたい」、これは誰もが願うあたりまえのことかもしれません。私たちのまち小郡市も高齢化が進行しています。その中で、年齢だけを理由に就業や社会的活動に参加する機会を制限されたり、拒否されたりするなど高齢者の人権に関わる問題も生じています。

活気あふれる高齢者のまちづくりを推進するには、高齢者が地域活動に参加し、豊かな経験と知識を若い世代に伝えていくことができるような環境づくりが必要です。

高齢者を支援するといってもその内容は多種多様です。地域包括支援センターでは、顔なじみがいる地域で、高齢者が安心して暮らしていけるように主任ケアマネジャー、保健師、社会福祉士などが中心となって支援を行っています。その取り組みを紹介します。

介護家族の「笑顔のつどい」

介護家族を支援する活動で、介護に疲れた家族が、同じ経験、悩みを話し合いながら、お互いに励ましあい、たくさんのストレスから少しでも解放されるようにアドバイスを受ける交流会です。（16ページで紹介）

おごおりレク健康隊

歩いて行ける身近な公民館などで実施されている「高齢者サロン」の推進に取り組んでいます。

閉じこもり・認知症の予防や高齢者の仲間づくりを目指して、健康体操やゲームの協力などのスキルアップのための勉強会を月1回行っています。



小郡キャラバン隊

認知症になっても住み慣れたまちで暮らせるよう地域に向けて発信しています。認知症サポーターを養成する活動を行っており、認知症の病気の説明や対応方法について理解を深める講座を開いています。受講者には認知症サポーターの証しであるオレンジリングをお渡ししています。



オレンジリング

高齢者権利擁護勉強会

権利侵害を受けやすい高齢者の権利を守ることができるように、介護、福祉、医療の専門職と共に勉強会を開いています。

ケアマネ学びの会

介護保険の要ともいえるケアマネジャーの資質向上のための学習会です。高齢者の地域生活を支えることを目指して、定期的な学習会で、知識を深めています。